

# 激励賞企業の紹介

|              |   |
|--------------|---|
| 企業<br>代表者    | 川本化成 株式会社<br>代表取締役 川本 淳生 氏                            |
| 創業/設立        | 設立1964年10月  |
| 本社所在地<br>連絡先 | 和歌山市直川160-23<br>TEL : 073-464-3901 FAX : 073-464-3905 |
| 資本金          | 1,000万円   |
| 業種           | プラスチック製品製造業   |
| 従業員          | 55人   |

## 〈企業概要〉

- 50年以上にわたり、母材と溶接棒を熱風で溶かし一体化することで接合する樹脂溶接加工を中心に、樹脂製品開発や半導体洗浄装置などの装置開発を行っている。



## 〈企業沿革〉

- 1945年 和歌山市福島535番地において、川本兄弟商会設立  
万年筆製造販売を開始
- 1964年 塩化ビニールを主体とするプラスチック加工会社として川本化成株式会社を設立
- 1988年 半導体処理装置分野へ進出
- 1990年 液晶処理装置分野へ進出
- 2000年 樹脂加工部門にて「ISO9001」を取得
- 2002年 関東への販路拡大のため東京営業所を新設
- 2011年 本社・工場を和歌山市直川に移転
- 2020年 INPIT和歌山県知財総合支援窓口「重点支援案件」に認定

## 〈ビジネスプランについて〉

### 『熱可塑性炭素繊維強化プラスチック（CFRTP）の溶接接合技術の開発及びプロモーションとメディア戦略』

- 現在CFRTP素材は「非常に強度があり、かつ非常に軽量」であるため、自動車・航空機・宇宙開発・ドローン・ロボット・風力発電・介護福祉関連・スポーツ用品・音響関連など、非常に幅広い分野で導入が進められている。
- 富士経済（2020年4月13日発表、日本経済新聞サイトより）では、2019年の炭素繊維強化プラスチックの世界市場は1兆5,545億円（うちCFRTPは546億円）であるものの、2035年には4兆2,251億円（うちCFRTPは3,703億円）に成長すると予測。
- これまでのプラスチック溶接の実績を活かし、日本初・世界初となるCFRTP材の溶接棒と溶接接合技術を開発。
- 『繊維強化プラスチック用溶接棒、及び繊維強化プラスチック用溶接棒を使用する溶接方法（特許第6935962号 2021年4月19日出願 発明者：川本淳生）』を生かし、自動車・航空機・宇宙開発・ドローン・ロボット・風力発電・介護福祉関連・スポーツ用品・音響関連分野等における付属部品や内装などでの利用を見込む。

【突合わせ溶接】



【T字溶接】



【L字溶接】

